

都市再生整備計画 事後評価シート  
中島地区

令和2年3月

北海道 室蘭市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	北海道		市町村名	室蘭市		地区名	中島地区		面積	121.4		
交付期間	平成27年度～平成30年度		事後評価実施時期	令和元年度		交付対象事業費	2089.5	国費率	0.396			
1)事業の実施状況	事業名											
	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	道路、地域生活基盤施設(情報案内サイン)、高次都市施設(地域交流センター:複合公共施設(スタジオ・研修室・図書コーナー))									
		提案事業	地域創造支援事業(複合公共施設(図書コーナー、子どもの遊び場)、事業活用調査(事後評価分析))									
	当初計画から削除した事業	基幹事業	-		削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響				
		提案事業	事業活用調査(事後評価分析)		市直営で事後評価を行うこととしたため。			影響なし				
	新たに追加した事業	基幹事業	-		-			-				
提案事業		-		-			-					
交付期間の変更	当初	平成27年度～平成31年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響	平成30年11月末ですべての事業が完了することとなったことから事業期間を短縮。事業内容に変更は無いことから、指標への影響は無い。							
	変更	平成27年度～平成30年度										
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値					
	指標1	地域の交流拠点に対する満足度	%	49.8	H26	74.0	H30	69.8	△	あり なし ●	地域交流を促進する機能が整備され、交流の拠点となる場が創出された点は評価できるが、満足度向上に向けては、施設のPR強化などが考えられる。	
	指標2	住環境の整備に対する満足度	%	56.5	H26	70.0	H30	62.7	△	あり なし ●	周辺道路の整備とゾーン30の規制導入により、路上駐車が解消されたほか、まちなかに道営住宅も整備され、安全・安心な住環境の形成が進んだ点は評価できるが、満足度向上に向けては、民間住宅施策などが必要である。	
	指標3	交流やコミュニティの活動に対する満足度	%	60.3	H26	70.0	H30	62.9	△	あり なし ●	交流拠点の整備により、地域活動の場が創出され、一定程度の効果があったものと考えられるが、満足度向上に向けては、地域活動をさらに活性化させる支援が今後の課題と考えられる。	
指標4	地区居住人口	人	5,182	H26	5,248	H30	5,148	△	あり なし ●	生涯学習センターの開館や周辺道路の整備により住環境の向上が図られ、道営住宅により、一定の定住化が進んだが、これらを上回る人口減少が進んでおり、目標に届かなかったものと考えられる。		
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
その他の数値指標1	-											
4)定性的な効果発現状況	○複合公共施設(正式名称:室蘭市生涯学習センターきらん)の整備によって、これまでに無い機能や空間が生まれ、子育て世代や高齢者などが多く集っているほか、中高生が学校帰りの自主学習や友人との会話を楽しむ姿が見受けられるようになり、室蘭市複合公共施設基本計画に設定した利用者数の目標値を大きく上回る利用が見られ、多世代が集える交流の拠点となっている。 ○周辺道路の整備とゾーン30の規制導入により、周辺の路上駐車が解消され、安全・安心な市街地の形成が進んでいる。											
5)実施過程の評価	実施内容			実施状況				今後の対応方針等				
	モニタリング	-		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				-				
	住民参加プロセス	事業に関する住民説明会の開催		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● 今後も市民意見を伺いながら、施設の利用促進等につなげていく。				
		市民向け施設内覧会の開催		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● 今後も施設PRなどにより、施設の利用促進等につなげていく。				
持続的なまちづくり体制の構築	-		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				-					

## 様式2-2 地区の概要

### 中島地区(北海道室蘭市) 都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値	
大目標: 多世代が集い、賑わい溢れる交流拠点の形成と安全で回遊性ある快適なまちづくり	地域の交流拠点に対する満足度	単位: %	49.8 H26	74.0 H30	69.8 H30
目標1: 多彩な複合交流拠点機能の導入により、賑わいのある市街地の形成を図る	住環境の整備に対する満足度	単位: %	56.5 H26	70.0 H30	62.7 H30
目標2: 有機的な道路網や良質な住宅供給の推進により、住環境の整備改善を図る	交流やコミュニティの活動に対する満足度	単位: %	60.3 H26	70.0 H30	62.9 H30
目標3: 子供からお年寄りまで地域活動や交流の促進により、つながりある地域コミュニティの構築を目指す	地区居住人口	単位: 人	5,182 H26	5,248 H30	5,148 H30

#### ■ 生涯学習センターきらんの開設(基幹事業・提案事業: 地域交流センター)



▲きらんの外観



▲図書コーナー



▲子どもの遊び場

#### ■ 道路整備とゾーン30の規制導入



▲ゾーン30速度規制



▲バリアフリー化

#### ■ 道営住宅の整備

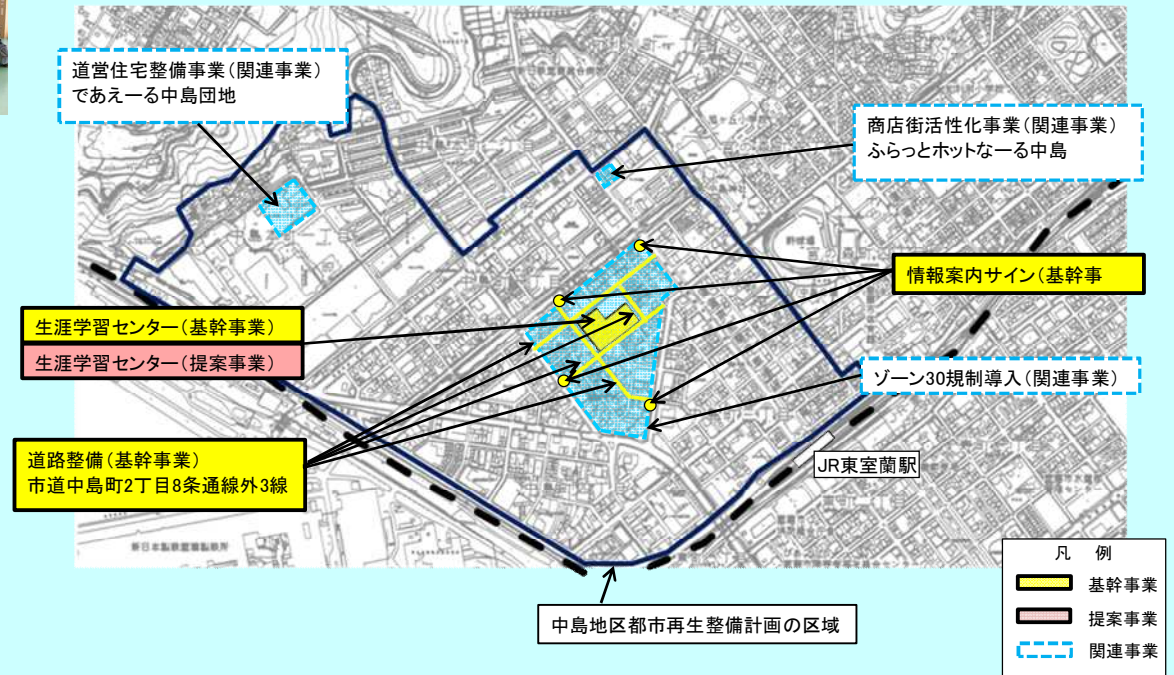


▲道営住宅と集会所



▲集会所の子育て応援事業

#### ■ 整備概要図



**まちの課題の変化**

- ・市内に点在する耐震性に課題がある公共施設を集約し、中心部の学校跡地に、生涯学習センターを整備し、スタジオや研修室のほか、エリア内の新たな機能として、図書機能や子どもの遊び場機能を導入したことにより、多世代が集える交流の場が創出された。
- ・生涯学習センターへのアクセスルートとなる道路の改良工事により、バリアフリー化を進めたほか、ゾーン30の交通規制導入により、速度抑制や路上駐車解消につながっている。
- ・道営住宅であえーる中島団地が整備され、まちなか居住の促進に寄与している。

**今後のまちづくりの方策(改善策を含む)**

- ・生涯学習センターは、多世代の交流拠点となっており、集客力の高い施設である。この集客効果を持続させるためには、ソフト事業の展開などにより、官民をあげてにぎわいを創出していくことが必要。
- ・中島地区は、室蘭市立地適正化計画における東室蘭周辺地区の都市機能誘導区域に位置付けており、広域的な商業中心地として生活利便性の向上と交流促進を図るため、今後も、都市機能の集約化と居住誘導を推進することが必要。
- ・生涯学習センターや道路などの既存のストック効果を最大化するために、官民連携による魅力ある事業展開などにより、回遊性の向上を図る。